

マンダムグループの沿革

▶ 経営全般 ▶ 研究・商品開発・マーケティング

1927-1969

- 1927.12 ▶「金鶴香水株式会社」設立
- 1932.11 ▶西村新八郎、取締役社長に就任
- 1933. 4 ▶「丹頂チック」発売
一世を風靡する大ヒット商品となり、企業基盤を確立
- 1958. 4 ▶フィリピン・マニラ市にて海外事業の第一歩となる
技術提携会社、丹頂コーポレーションが稼働
- 1959. 4 ▶社名を「丹頂株式会社」に変更
- 1961. 5 ▶西村彦次、取締役社長に就任
- 1966.11 ▶会長 西村新八郎逝去(3日)
- 1969.11 ▶インドネシア・ジャカルタ市に合併による現地法人
P.T.Tancho Indonesiaを設立
(現・連結子会社 PT Mandom Indonesia Tbk)

1970-

- 1970. 6 ▶輸出貢献企業として通商産業(現・経済産業)大臣の
表彰を受賞('71、'72年にも受賞)
- 7 ▶「マンダムシリーズ」発表会を開き、
9品種10品目の発売を発表
キャラクターには日本で初めてハリウッドスターを起用
(チャールズ・ブロンソン氏)
- 1971. 4 ▶社名を「株式会社マンダム」に変更
- 1972.10 ▶日本ドクタ・ルノー化粧品(株)設立
(現・連結子会社(株)ピアセラボ)
- 1976. 3 ▶福岡工場が竣工、操業開始
- 1978. 5 ▶代理店経由販売から、販売店直接取引(直販)に移行
- 7 ▶「ギャツビー」「スポルディング」、業界で初の2ライン
同時発売

1980-

- 1980. 4 ▶販売店直接取引(直販)から、代理店経由販売に移行
- 8 ▶西村育雄、取締役社長に就任
- 1982. 4 ▶第1次中期5カ年経営計画(MPプロジェクト)スタート
- 9 ▶美容院ルートに新しいヘアケアシステムの提案となる
「バリアッチ」ライン発売
- 10 ▶インドネシアにて「ピクシー」発売
- 1983. 4 ▶新しいCIシステムの導入により、
シンボルマークなどの外見要素を変更
- 1984. 4 ▶情報カードシステムを導入
- 7 ▶女性マス市場への第1弾として、
ティーンズ向け「ビュセル マイリップ」発売
- 1985. 2 ▶訪問販売による女性化粧品市場参入のため
(株)ミック設立
- 3 ▶「ギャツビー」から店頭販売初の
男性用ヘアフォームを発売
- 1986. 1 ▶社外監査役の設置
- 9 ▶福岡工場エアゾール棟建設
- 1987. 4 ▶第2次中期3カ年経営計画スタート
- 11 ▶インドネシアにて女性コスメティック
「ピクシー モイスチャーリップスティック」発売

- 1988. 2 ▶シンガポールにて現地合併会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Corporation(Singapore)
Pte. Ltd.)
- 11 ▶株式を店頭公開
- ▶公募増資により50万株を発行
- 1989. 3 ▶主力フォーム、(財)日本環境協会より
業界で初のエコマーク認定
- 9 ▶業界で初めての無香料男性化粧品「ルシード」発売
- ▶日本ドクタ・ルノー化粧品(株)を(株)ピアセラボに社名変更
- 12 ▶台湾にて現地合併会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Taiwan Corporation)

1990-

- 1990. 4 ▶第3次中期3カ年経営計画スタート
- ▶タイにて現地合併会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Corporation(Thailand) Ltd.)
- 7 ▶販売助成金の廃止による建値の改正
- 1991. 4 ▶マンダム東京支店ビル竣工
- 1992. 2 ▶フィリピンにて現地合併会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Philippines Corporation)
- 9 ▶選別流通による化粧品販売会社として(株)エムザ設立
- 1993. 2 ▶マンダム本社ビル第1期工事竣工 新社屋で営業開始
- 4 ▶第4次中期3カ年経営計画スタート
- 7 ▶香港にて現地合併会社スタート
(現・持分法適用関連会社 Sunwa Marketing Co., Ltd.)
- 9 ▶無香料女性ヘアメイクライン「ルシードエル」発売
- ▶P.T.Tancho Indonesia Tbk、ジャカルタ証券取引所
(現・インドネシア証券取引所)に上場
- 10 ▶フランスのエステティック化粧品販売会社として
(株)ギノー・ジャパン設立
- 1994. 6 ▶マンダム本社ビル、第2期工事を終え完成
- 1995. 6 ▶西村元延、取締役社長に就任
- ▶社外取締役の設置
- 1996. 4 ▶第5次中期3カ年経営計画スタート
- ▶グループ会社の化粧品輸入製造会社として
(株)ビューコス設立
- ▶ホームページ「マンダムワールド」開設
- 12 ▶中国にて現地合併会社スタート
(現・連結子会社 Zhongshan City Rida Cosmetics
Co.,Ltd.)
- 1997. 1 ▶マレーシアにて現地合併会社スタート
(現・連結子会社 Mandom(Malaysia) Sdn. Bhd.)
- 4 ▶(株)公南サービス設立(現・(株)エムピーエス)
- 1998. 8 ▶170万株の自社株公開買付を実施
- 1999. 1 ▶女性用敏感肌スキンケアライン「システムE/O」を
通信販売で発売
- 3 ▶「ギャツビー」が男性化粧品ブランドとしては業界初の
100億円の売上を突破
- 4 ▶第6次中期3カ年経営計画スタート
- 8 ▶韓国にて現地合併会社スタート
(現・連結子会社 Mandom Korea Corporation)



2000-

- 2000. 5 ▶取締役相談役 西村育雄逝去(23日)
- 8 ▶単元株式数を1,000株から100株に変更
- 11 ▶福岡工場と物流センターで環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得
- 2001. 3 ▶PT Mandom Indonesia Tbk チビトン工場稼働
 - ▶「ギャツビー ヘアカラーシリーズ」発売により
男性黒髪用ヘアカラー市場を創造
- 6 ▶執行役員制度導入
- 8 ▶233万株の自社株公開買付を実施
- 2002. 1 ▶東京証券取引所市場第二部に株式上場
- 3 ▶マンダムグループ東京日本橋ビル竣工
 - ▶「ギャツビー」ヘアカラーCM、総合第1位
(CMデータバンク：首都圏CM好感度調査)
- 4 ▶第7次中期3カ年経営計画スタート
- 5 ▶アジア地域で「ギャツビー」「ルシードエル」の
水平展開をスタート
- 2003. 1 ▶名誉顧問 西村彦次逝去(25日)
- 3 ▶東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
 - ▶公募増資により165万株を発行
- 10 ▶福岡工場がゼロエミッションを達成
 - ▶PT Mandom Indonesia Tbk
「インドネシアEVA(経済的付加価値)優良企業賞」を
受賞('04、'05、'06年にも受賞)
- 2004. 2 ▶熱傷事故により「ギャツビー EXハイブリーチ」の
自主回収を実施(創業以来初)
- 3 ▶福岡工場・物流センター・生産技術室が
労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001)の
認証を取得
- 10 ▶日本通運(株)に3PL(サードパーティロジスティクス)
業務を委託
- 2005. 2 ▶100%子会社(株)エムザを吸収合併
- 3 ▶100%子会社(株)ミックの全株式をBHL社へ譲渡
- 4 ▶第8次中期3カ年経営計画スタート
- 6 ▶役員退職慰労金制度の廃止
- 11 ▶アルカンジオール配合の
「防腐剤フリー(防腐剤無添加)処方」を開発
 - ▶女性化粧品自社開発第1号
「パーフェクトアシスト24」発売
- 2006. 8 ▶「ギャツビー ムービングラバー」を発売、
イメージキャラクターに木村拓哉を起用
- 8 ▶33万株の自社株取得
- 11 ▶マンダム本社ビルR&D棟竣工
- 2007. 1 ▶2009年の裁判員制度導入に向けて就業規則を改定
- 2 ▶東京証券取引所「第12回(平成18年度)
ディスクロージャー表彰」受賞
- 12 ▶PT Mandom Indonesia Tbk 年間売上1兆ルピア達成
- 2008. 4 ▶第9次中期3カ年経営計画スタート
- 5 ▶中国にてMandom China Corporation設立(連結子会社)

- 2009. 3 ▶首都圏営業拠点を再編
(マンダム東京支店ビル、マンダムグループ東京日本橋
ビル、マンダム日本橋馬喰町ビルを売却)
- 4 ▶(株)ビューコスを(株)エムビーエスに吸収合併
- 7 ▶88,800株の自社株取得

2010-

- 2010.10 ▶100%子会社(株)ギノージャパンの全株式を
ワミレスコスメティックス(株)へ譲渡
- 2011. 2 ▶「ルシード」エイジングケアブランドへ
全面リニューアル
- 4 ▶第10次中期3カ年経営計画スタート
- 8 ▶「ギャツビー」グローバルサイトおよび
フェイスブックページを開設
 - ▶女性コスメティックブランド「ピフェスタ」を発売
- 2012. 3 ▶インドにてMandom Corporation (India) Pvt. Ltd.設立
(連結子会社)
- 2013. 8 ▶「ギャツビー ヘアジャム」を発売し、
ヘアワックスに次ぐ新剤型を提案
- 2014. 2 ▶ミドル脂臭対策の「ルシード ニオイケアシリーズ」発売
- 3 ▶福岡工場の生産棟を増設
- 4 ▶第11次中期3カ年経営計画スタート
- 2015. 1 ▶ベトナムにてMandom Vietnam Company Limited
設立(連結子会社)
- 6 ▶PT Mandom Indonesia Tbk本社・工場を
ジャカルタからプカシに移転
- 7 ▶大阪大学に「先端化粧品科学共同研究講座」を設置
 - ▶PT Mandom Indonesia Tbk工場にて
犠牲者を伴う火災事故が発生
- 2016.10 ▶先端化粧品科学共同研究講座において
ヒトの汗腺幹細胞を発見し、
生体外での汗腺様構造体の再生に成功
- 2017. 4 ▶従来の企業理念を見直すとともに、100周年にあたる
2027年でのありたい姿「VISION2027」を策定
 - ▶第12次中期3カ年経営計画スタート
 - ▶働き方改革の一環として、「在宅勤務制度」を導入
- 10 ▶株式分割を実施
(普通株式1株につき、2株の割合をもって分割)
- 2018. 5 ▶グループのマーケティング機能を東京・青山に集約
- 6 ▶譲渡制限付株式報酬制度を導入
 - ▶いっそうの実効性と透明性を高めることを目的に、
相談役・名誉顧問・顧問を廃止
- 8 ▶多様な人財の活用、および雇用の拡大を目的として
(株)マンダムウィル設立
- 2019. 1 ▶マレーシアを中心に若年層の女性向け
メイクアップブランドなどを展開する
ACG International Sdn. Bhd.の株式を100%取得
(子会社化)
- 5 ▶「天猫国際(Tmall Global)」に越境EC旗艦店をオープン
- 7 ▶オンラインショップ「HIBInoBI(ヒビノビ)」をオープン
- 11 ▶49,900株の自社株取得

